


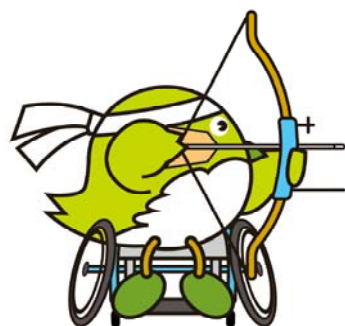


平常心！集中力！！ただ的の中心をめがけて！！

アーチェリー（身） 障がいごとに分けられた各クラスに応じて競う。コンパウンドという健全には無い、引きやすい弓を使う種目もある。 大分県選手は、リカーブ、コンパウンド共に全国記録に迫る記録を持っている選手もいる。最年長の選手や若手の成長株も楽しみな存在。	大会期日 12日(日)
	会場 大洲総合運動公園公式野球場（新大分球場）
	実施種目 リカーブ50m・30mダブルラウンド リカーブ30mダブルラウンド コンパウンド50m・30mダブルラウンド コンパウンド30mダブルラウンド

○ 出場全選手紹介(6月末現在)

有田 正利 選手 (大分市) 	全国障害者スポーツ大会に過去3度出場したことがある常連!! 常に、大分県の身障アーチェリーを引っ張ってきた実力派。 「いかに同じ動作で毎回矢を放つことができるのかが勝敗を分けるポイント」と言う。この大会でもみんなを引っ張って、きっと好記録をたたき出してくれるはず!!	高島 昇 選手 (杵築市) 	大分県選手団の最高齢85歳の高島さん。矢を射る姿はいぶし銀!的を見る目はしぶすぎる!!全国障害者スポーツ大会にも過去2度出場した経験もある。年齢を重ねても更なる記録の向上を目指す、努力家!!今大会でも一挙手、一投足が注目される。
森田 真寿美 選手 (豊後大野市) 	第6回全国障害者スポーツ大会に初出場し、金メダルを獲得したコンパウンド・女性部門の新星。それ以来、地道に練習を重ね、更に磨きをかけた腕前は、既に全国でも上位クラス!放った矢は、的の真ん中に吸い込まれるように、突き刺さる!!今回もその正確なシューティングで観客を魅了すること間違いなし!!	坂本 義則 選手 (大分市) 	約1年半前から、有田選手に誘われ始めたアーチェリーを既に自分のものにしていく坂本さん。最初は、弓を射るのも精一杯だったものの、今では、県内屈指のアーチェリーの使い手となり、初の全国障害者スポーツ大会出場を決めた!更なる成長の可能性を予感させる!!本番が楽しみだ!!!
投野 文仁 選手 (日田市) 	これからの大分県のアーチェリーを引っ張ってくれるであろう新星「サウスポーナギノ」。サウスポーから繰り出される矢は、しなりを帯びて的の中心に突き刺さる。真ん中をただただめがけて放つ姿は、職人っぽささえも漂わせる。 「男は背中語るもの!全ては結果が教えてくれる!」頑張れ「ナギノ」		



○ めじろんから一言!

県内では、大分県身体障がい者アーチェリー協会が中心となり、練習会を実施し、日々競技力の向上を図っています!「チャレンジ!おおいだ大会」では、選手・役員一致団結して、おおいだのアーチェリーの底力を見せつける!!
 みなさんの応援をお待ちしています!!